

## 理事長就任にあたって

日本デイケア学会理事長 原 敬造  
医療法人社団 原クリニック

“入院治療中心から地域生活中心へ”との基本政策が策定され、この基本政策にそって、我が国の精神保健医療福祉政策は策定されています。少子化と高齢化が現実的な課題となる中、共生社会の実現にとって、包括的地域ケアが大きな課題となっております。精神疾患を持つ方が地域で生活を送りながら、医療とリハビリテーションを受ける地域ケアにとって、デイケアは治療とリハビリテーションの要素を持つ医療活動で欠かせないものです。地域での連携をベースにした地域ケアで、多職種によるデイケアは中心的役割を果たすことが出来ます。しかしながら、現状ではデイケアは適切な評価を受けてはいません。

デイケアに逆風が吹いている中で、Eクリニック問題がマスコミに報じられ、デイケアは大きなイメージダウンを強いられました。生活保護受給の条件として、デイナイトケアへの導入が行われ、生活保護の窓口でその対応にあたったのが、医療機関から派遣された職員であったことが報じられました。

この問題で、私たちが問われたことは、治療への導入が生活と引き換えに行われ、自由な契約に基づく治療契約といった治療原則からの著しい逸脱があったことであり、デイナイトケアにおいて金銭管理や住居に至るまで医療の管理下に置かれていたということです。

自由意思に基づかない治療や、治療の名のもとにおける生活管理は、あってはならないことです。私たちに潜むパターンリズムを自己点検しなければなりません。

さて、デイケア学会では、平成28年の診療報酬改定に際して、専門的プログラムへの加算などいくつかの提案を行ってきましたが、結果は、1年以上の利用者に対する利用制限や3年以上の利用者の減額など厳しいものでした。

こうした中であっても、デイケア学会は大阪、金沢、秋田の地で、大会長をはじめ多くの関係者の尽力のもとで、総会と学術研究会を開催しました。学術研究会では多くの成果が発表され、今後のデイケアに有用な知見が得られました。このような優れた知見を多くのデイケア利用者、関係者に届けていくことも学会の大きな責務と考えます。

今期の重要課題として、Eクリニック問題の反省を踏まえ、デイケアに取り組む倫理綱領の策定が必要と考えています。デイケアにおいて、よりよいサービスを提供するには、エビデンスに基づいた実践が求められています。それには、デイケアの質の担保が必要で、デイケアの標準化が要になります。現在、各機関と共同でデイケアの大規模調査を実施しており、その成果を標準化に反映します。また学術研究会で得られた知見を各地の実践に反映するには、きめ細かい取り組みが必要です。各地区で行われている研究会と連携し、より身近なところでの連携強化を図り、地域ケアの要として地域の社会資源と結びついたデイケアの実施を推進します。

皆様のご協力をお願いします。

---

## 日本デイケア学会役員

**理事長**：原 敬造

**副理事長**：五十嵐良雄， 古屋龍太

**理事**：飯田仁志， 池淵恵美， 稲毛義憲， 内野俊郎， 大嶋正浩， 川寄弘詔，  
窪田 彰， 栗原 毅， 佐藤志津， 関 健， 高尾由美子， 富澤宏輔，  
西浦竹彦， 長谷川直美， 林みづ穂， 肥田裕久， 平川淳一， 福智寿彦，  
藤田 潔， 松永宏子， 三家英明， 百田 功， 横内定明， 横山浩之，  
四本かやの， 若松伸宏， 渡邊文宏

**監事**：坂井一也， 友國由美子

**事務局長**：林 俊秀

**評議員**：(地区別， 五十音順)

北海道・東北地区● 稲毛義憲(OT)， 佐藤志津(PSW)， 長谷川直美 (DR) ，  
林みづ穂(DR)， 原 敬造(DR)

関東地区● 五十嵐良雄(DR)， 池淵恵美(DR)， 窪田 彰(DR)，  
栗原 毅(CP)， 肥田裕久(DR)， 平川淳一(DR)，  
古屋龍太(PSW)， 松永宏子(PSW)

中部地区● 大嶋正浩(DR)， 福智寿彦(DR)， 藤田 潔(DR)

北陸・信越地区● 渡邊文宏(NS)， 横内定明(DR)

近畿地区● 富澤宏輔(PSW)， 西浦竹彦(DR)， 三家英明(DR)，  
百田 功(CP)， 四本かやの(OT)

中国・四国地区●

九州地区● 飯田仁志(DR)， 内野俊郎(DR)， 川寄弘詔(DR)，  
横山浩之(OT)

高齢者全国区● 関 健(DR)， 高尾由美子(PSW)， 若松伸宏(OT)

任期：平成 32 年総会まで

# 日本デイケア学会第23回年次大会千葉大会に向けて 夢と希望をかなえるデイケアを目指して

日本デイケア学会 第23回年次大会 大会長 肥田 裕久  
医療法人社団宙委会ひだクリニック理事長

みなさま。日本デイケア学会第23回年次大会千葉大会を準備している運営スタッフを代表してみなさまにごあいさつをさせていただきたいと思います。

今回の千葉大会のメインテーマは「夢と希望」です。すこし荒唐無稽なテーマかもしれませんが、もう一度この根本へ立ち返っていくことが必要ではないか、と運営スタッフで考え、このテーマを設定しました。

「夢と希望」をかなえる場所としてのデイケア。病気や障害によっていったんは失くしてしまった「夢や希望」、それを再び取り戻す過程でデイケアはどのように役立っているのでしょうか。「夢や希望」を口にする時、そのことを口にしても違和感のない文化（カルチャー）がデイケアにはあるのでしょうか、その事ももう一度考えないとなりません。当事者が口にする「夢や希望」と支援者が思い浮かべる「夢や希望」に違いはないのでしょうか。また、家族の求める「夢や希望」とはどういったものなのでしょうか。このように考えていくと、たくさんの疑問がでてきます。そのすべてを解決できるわけではないのですが、そうかといってひるむわけにはいきません。この「夢と希望」に青臭くとも真っ向から対峙し、千葉大会を通して「夢と希望」とはなにか、どうしたら取りもどせるのか、を考えてみたいと思います。

わたしたちだけでは心許ないので、応援を2人のマスコットにも頼みました。千葉県にちなみ梨の妖精と落花生の妖精です。それぞれの名前は「ドリちゃん」「ほーくん」です。それぞれ dream、hope から取っています。かわいらしい2人なのでどうかこれからよろしくお願いします。

日本デイケア学会第23回年次大会千葉大会は平成30年10月18日(木)・19日(金)、千葉県の東京ディズニーリゾート 東京ベイ舞浜ホテルクラブ&リゾートで行われます。

みなさまのお越しを心からお待ちしています。



**第23回年次大会千葉大会**  
**日本デイケア学会**  
夢と希望をかなえるデイケアを目指して  
～正しいより楽しい、やりたいことをやってみよう～

会場：東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート  
(東京ディズニーリゾート内)  
会期：2018年10月18日(木)～19日(金)

大会事務局：日本デイケア学会第23回年次大会千葉大会事務局  
大会長：肥田裕久(医療法人社団 宙委会 ひだクリニック 理事長/院長)  
〒270-0163 千葉県流山市南流山1-14-7  
(医療法人社団宙委会ひだクリニック内)  
Tel & Fax 04-7157-9855  
ホームページ <http://daycare23chiba.umin.ne.jp>

---

## 日本デイケア学会 第23回年次大会千葉大会のご案内

大会テーマ

**夢と希望をかなえるデイケアを目指して  
～正しいより楽しい、やりたいことをやってみよう～**

大会長

**肥田 裕久** (医療法人社団宙麦会ひだクリニック理事長/院長)

会期

**2018年 10月 18日 (木) ～ 10月 19日 (金)**

会場

**東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート**  
(東京ディズニーリゾート内)

ホームページ

**<http://daycare23chiba.umin.ne.jp>**

---

演題募集について

・デイケアに関する演題を広く募集いたします。  
募集期間、募集要項につきましては、大会ホームページをご参照ください。

---

事前参加登録について

・登録期間、詳細につきましては、大会ホームページをご参照ください。  
また、会期当日から週末にかけては市内の宿泊施設の混雑が予想されます。  
ご自身での確保を予定されている場合は、お早めの予約をお勧めします。

---

イラストコンテスト募集について

・大会テーマに沿ったイラストを公募いたします。  
応募資格：精神科及びデイケアに関心をお持ちの方どなたでも  
第1次(抄録表紙のイラスト) 締切：平成30年5月31日(木) 到着分  
第2次(コンテスト全般) 締切：平成30年8月31日(金) 到着分  
募集要項につきましては、大会ホームページをご参照ください。

---

研修単位の  
認定について

・本大会は日本精神神経学会専門医資格更新にかかる単位の取得ができます。

---

連絡先 【日本デイケア学会第23回年次大会千葉大会事務局】

医療法人社団宙麦会ひだクリニック内  
〒270-0163 千葉県流山市南流山1-14-7  
TEL&FAX: 04-7157-9855  
E-mail: dc23chiba@soramugi.com

---

---

# ようやく日本デイケア秋田大会を終えて

日本デイケア学会 第22回年次大会 大会長 稲庭 千弥子  
医療法人久幸会・社会福祉法人友遊会理事長

たくさんの会員の皆様、そして講師・シンポジストの皆様、さらには2年間に渡り準備を担当したスタッフ一同のがんばりで、ようやく第22回日本デイケア学会秋田大会を終えることができました。皆様に改めて深謝申し上げます。

第22次年次大会では、ジョン・J・レイティによる「脳を鍛えるには運動しかない」、佐久間啓先生による「精神科における地域包括ケアを考える」、鈴木純一先生による「集団精神療法を振り返る」、大会長企画シンポジウム「認知症デイケアでどこまでできるのか」、特別企画「日精診・日精協・日本デイケア学会調査報告」、鈴木医務技官による「平成30年度医療・介護同時改訂 toward & beyond」、清水徹男先生による「眠りと健康」、伊豫正臣先生による「地域生活を支えるための統合失調症の薬物療法」、佐藤仁先生による「精神科デイケア、デイナイトケアの患者さんの治療人生における役割-精神科入院・退院・デイケア・就労施設・一般就労-」、山口晴保先生による「デイケアにおける認知症の脳活性化リハビリテーション」、宮越尚久先生による「高齢者の転倒予防と対策～薬物治療を含めて～」、柴田栄宜先生による「施設におけるデイサービス運動及びスタッフの健康管理」……全てを聞いたかった方が多いのではないかと思います。興味深い話をしてくださった先生方に改めて御礼申し上げます。

また日本デイケア学会だけではなく、認知症の人と家族の会と共催の第25回高齢社会を考えるフォーラムや秋田県認知症疾患医療センター主催の研修会とも合同開催となりました。各学会や研修会との連携、たくさんの専門職連携、地域連携……これらの集大成として本大会が無事終了できましたことを、関係各位の皆様そして連携してくださった皆様に重ねて御礼申し上げます。

デイケアは、心身の健康を24時間365日包括的に見守り共に生活するしかないと考えています。そのスタッフは、専門職プラスアルファの関係になっています。医師・看護師・作業療法士・心理士・精神保健福祉士などが精神科デイケアの必要人員基準になっていますが、現場では実際に栄養士・理学療法士・健康運動指導士・相談支援専門員・就労支援専門員……ボランティア会・家族会ほか、たくさんの関わりが当事者と共にあります。高齢者デイケアも精神科デイケアと同じです。認知症デイケアを全国で初めてスタートして30年。家族会活動に向かい、合併症と認知症状や問題行動への対応から精神科以外の老年科・リハビリテーション科にも向かう日々。家族と地域の協力とたくさんの専門職の協力、そして行政の力・施策の応援もあって何とかなっています。

最後に皆様の協力・お力添えに深く感謝申し上げます。

## デイケア 西から東から、北から南から…

### 秋田大会印象記 遠き秋田

朴 相運

家から出発し東京まで飛行機で、東京から新幹線に乗り12時間かかって秋田に着いた。

それでも金曜日の夕方に行われた内野先生の心理教育の講義に遅れてしまった。

日曜日の学会が終わっても交通の便のため秋田で泊まり、月曜日の朝始発の新幹線で出発し台風を抜け家に着いた時には夕方の6時であった。遠き秋田であった。

しかし、一人であっても聞きたいと思う内容全てを聞くことができないという現実が惜しまれた。

韓国にはまだデイケアの学会がなく、日本のように活性化されていないため羨ましく思う。特に多職種が共に、時にはPeer Staffまで共に発表する姿はとても印象的であった。週末にもかかわらず一生懸命学ぶ姿は日本精神科の底力を感じられた。また韓国にはほとんどない診療所のデイケア、特に多機能型診療所は地域精神保健事業に対する積極性を感じられた。

韓国にはまだ日本のようにデイケアの人的、空間的規定がない。ただ1日に6時間という規定があるだけである。

長期入院から地域中心医療としていくのは日本も韓国も同じである。

早い時期に韓国でのデイケアが活性化され、多くの長期入院患者達が地域に出て行き社会復帰できればと願っている。

日本では既にデイケアの問題点を指摘する雰囲気も多く感じるが、デイケアは境界幕として精神科病院と地域社会の両方に良き影響を与える素晴らしい治療法だと思う。

このように感想を発表する貴い機会をくださったデイケア学会と肥田先生に感謝致します。

(韓国 大同病院・精神科医師)

### 秋田大会印象記

## 第22回年次大会秋田大会印象記

安藤 文哉

私は、岩手県盛岡市にある未来の風せいわ病院に勤務して1年目であり、リワークプログラムの心理技術者として運営に携わっています。

第22年次大会秋田大会では、「復職支援」セッションで、「認知機能と社会機能に着目した復職支援の試み」について初めて口演発表を行う機会をいただきました。学会に参加し、利用者の認知機能へのアプローチがより求められていることを学ぶことができました。また、今回

の研究で私たちが着目した利用者の社会機能へのアプローチについても、参加された多くの先生方とディスカッションをするなかで、それが復職、社会参加というデイケアの目指すべき目標につながる重要なポイントであることを再確認することができました。

さらに、講演、シンポジウムや懇親会での交流を通し、多くの気づきを得ることができました。それは、デイケアとは、治療の場でありながら、利用者の生活を支えてい

---

く場であり、社会に一步を踏み出す利用者、社会に再び戻っていく利用者にとっては、社会の小さなコミュニティとして機能するという事です。利用者には、同じ精神疾患を患っている人もいれば、異なる疾患を患っている人もいます。たとえ同じ疾患だとしても、至る理由は一人ひとり異なっています。そのような人々が、同じ空間で過ごし、影響を与え合っていくことは、利用者同士の大きな相互作用を生むと考えられます。私たちは、その相互作用が利用者にとって、意味のあるものとなるように、そして、社会への再出発となるように、サポートをしていくこ

とが大切だということ了他院の先生方の講演や懇親会でのお話を聞いて、学ばせていただきました。

デイケアの必要性はこれからも高まっていくと考えられます。私は、デイケアを利用しようと決意した利用者のリカバリーを目指す力を信じながら、利用者のこれからの暮らしが豊かなものになるように、取り組んでいきたいと思ひます。

(社会医療法人未来の風せいわ病院 これからの暮らし支援部 社会復帰支援室・臨床心理士)

---

## 秋田大会印象記

# デイケア学会に参加して得たもの

松本 美里

デイケアに所属して三年目、今回初めてデイケア学会に参加しました。秋田県に行くのは初めてで、どんな場所、どのような話が聞けるのか期待に胸を弾ませて飛行機に乗りました。

当院のデイケアは、メンバーの半数以上が20代～40代の方で、就職を目標にして通われている方が数多くいらっしゃいます。一人ひとりの「働きたい」という目標に向かって、地域の就労支援機関と連携しながら取り組んでいるところです。しかし、就職には結びついて、定着しにくい現状があります。単に就職することではなく、いかに「安心して働けるか」が課題となっています。

学会の口演発表では、主に就労支援の取り組みについて聞きました。各病院やクリニックごとに特色を活かした取り組みをされており、参考になることが多くありました。「デイケア卒業者の会」を行っているクリニックや実際の就労場面に近い形で就労プログラムを実施している病院など、色んな工夫をされている話を聞くことができ、当院のデイケアでも活かせるヒントをもらったように感じます。また、講演の中で、「デイケアは荷降ろしができる場所」

という言葉が印象に残っています。デイケアのメンバーさんには、日常生活の中で悩みや生きづらさを抱えている方、働きながら通っている方など多様な環境にある方がいらっしゃいます。就労ばかりが社会復帰の尺度にならないように、当院のデイケアも肩に抱えた大きな荷物をそっと置けるような、そんな場所にしていきたいと思ひました。

私が入職してからの短い間でも、デイケアの求められる役割はより多様に変化していると感じます。学会に参加して普段はお会いする機会のない、他県の方とお話をさせていただくことで、新しい知見を得て、自分の視野を広げる良い機会になりました。時代や地域から求められていることを敏感に察知しながら、これからもデイケアメンバーの希望の為に、懸命に取り組んでいきたいと思ひます。

(特定医療法人 佐藤会 弓削病院 デイケアセンター  
アンダンテ・精神保健福祉士)

# 日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、老人デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振 込 先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

## 入会申込書

申込日 平成 年 月 日

(正会員用)

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日
----	--	----	-----	------	----------	---	---	---

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	( )
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別		TEL	( )	FAX	( )
----	--	-----	-----	-----	-----

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ